

学校訪問シリーズ 30

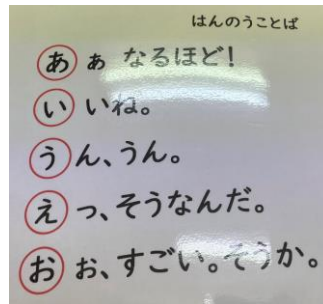
臼杵市立海辺小学校から学ぶ

学校の教育目標「ことばや思いをつなぎ合う児童の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を、「言語能力」と定め、さらに重点目標を「読み取る力（知識・技能）」「伝え合う力（思考力・判断力・表現力等）」「よりよい人間関係を築く力（学びに向かう力、人間性等）」の3つの柱とすることで、ことばを意識した実践を行っています。

学校経営から学ぶ

本校の注目すべき点は、それぞれの重点目標を短期で検証していることです。その際、教職員が行った取組指標と共に、それによって子ども達がどのように変化したかを、「取組定着度」という項目で検証しています。毎回の単元テストやアンケートを各学年度毎に数値化することで、支援をする子どもを明確にしたり、次の取組指標の設定に生かしたりしています。

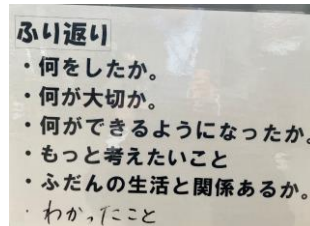
そのため、「反応ことば」「ふわふわことば」「読書デー」等、新たな取組も行っていますが、今後は、それらの実践が「言語能力」の育成やそれぞれの重点目標に向かっていくか（どんな力をつけるために行うのか）を確認すると、より効果的、発展的な実践になると思われました。



授業から学ぶ

参観したどの授業も、子ども達が自分の思いを伝え合う場が見られました。特に、4年生算数では様々なやり方が出されたので、自分の考えと比較し、共通点を見つけることでねらいに迫る内容でした。

また、6年、4年、1年の指導案では「振り返り」も、教師が願う具体的なゴールの姿を子どもが表現するような言葉で示しているため「ねらい」との連動や評価規準が明確でした。



今後は、子どもどうしの学び合い等を多く取り入れることで、学校が育成を目指す資質・能力が育成されると思われました。その際は、教師は全体を俯瞰的に見ることで、それぞれのグループの良さや進捗について形成的な評価を行い、次への活動につなげると良いと思われました。



NO.221 2022年10月 臼杵市立海辺小学校

あんしんな空間

自分の思いを、反応ことばで聴いてくれる友達がいるから、自信をもって発言できる。



NO.222 2022年10月 臼杵市立海辺小学校

まごころいっぱい

相手の思いを共感的に聴き、認め合うから、共に成長する。



NO.223 2022年10月 臼杵市立海辺小学校

ベストを出す

工夫しながら頑張った！
自分らしさが発揮できた。
だから、最高の笑顔になる。